

東京旭川会のWebサイト▶ <http://www.tokyoasahikawakai.jp>

# 西川新市長をお招きして 新しき旭川の魅力・ 可能性を発見!!

VOL.  
29

## 第31回東京旭川会総会・懇親会のご報告

2007年11月2日、西新宿のハイアットリージェンシー東京にて「第31回東京旭川会総会・懇親会」が開催されました。今回は、前年11月に旭川市長にご就任された西川将人市長をお招きし、故郷旭川の発展を願い会員とともに語り合いました。



第29号：平成20（2008）年3月15日発行  
 発行：東京旭川会 〒104-0061  
 東京都中央区銀座3-9-4 文成ビル3F  
 竹原法律事務所内  
 TEL/FAX：03-3546-7339  
 編集：東京旭川会広報委員会

「総会」平成十八年十月に開催された三十周年記念総会から一年が過ぎ、今年も懐かしい会場には、故郷旭川を想う人々が集り始めました。開会前から、再会を分かち合い、ロビーは賑わい始まりました。

いよいよ開会の時間を迎えた午後六時、司会を務める安井規雄幹事の開会挨拶の後、竹原会長が議長となって、「平成十八年度事業報告並びに決算報告」「平成十九年度事業計画並びに予算案」についての報告がありました。次に「会長任期満了につき改選の件」となり、会場内の会長留任の声を受け、満場一致で竹原会長の会長留任が決まりました。

「懇親会」司会の松原幹事の挨拶の後、ご来賓入場。今回は平成十八年十一月に就任された西川新市長をお招きし、一層豪華な顔ぶれとなりました。



「皆さま、初めまして。旭川会への参加を待ち望んでいました。」西川市長の御挨拶が始まりました。「旭山動物園来場者及び旭川空港利用者の増加とホテルの建設ラッシュなど観光を核としたテーマ。もう一点は、企業誘致。北海道電力がリスク分散として、地震のない旭川にデータバックアップシステムを移転。さらに、食の安全・ゆとりある暮らし・農村の暮らしが日本の社会でも見直されている昨今、旭川も移住・定住の町としてアピールしている」など、新しい旭川の未来を大いに紹介していただきました。

「皆さま、初めまして。旭川会への参加を待ち望んでいました。」西川市長の御挨拶が始まりました。「旭山動物園来場者及び旭川空港利用者の増加とホテルの建設ラッシュなど観光を核としたテーマ。もう一点は、企業誘致。北海道電力がリスク分散として、地震のない旭川にデータバックアップシステムを移転。さらに、食の安全・ゆとりある暮らし・農村の暮らしが日本の社会でも見直されている昨今、旭川も移住・定住の町としてアピールしている」など、新しい旭川の未来を大いに紹介していただきました。

「総会」平成十八年十月に開催された三十周年記念総会から一年が過ぎ、今年も懐かしい会場には、故郷旭川を想う人々が集り始めました。開会前から、再会を分かち合い、ロビーは賑わい始まりました。いよいよ開会の時間を迎えた午後六時、司会を務める安井規雄幹事の開会挨拶の後、竹原会長が議長となって、「平成十八年度事業報告並びに決算報告」「平成十九年度事業計画並びに予算案」についての報告がありました。次に「会長任期満了につき改選の件」となり、会場内の会長留任の声を受け、満場一致で竹原会長の会長留任が決まりました。「懇親会」司会の松原幹事の挨拶の後、ご来賓入場。今回は平成十八年十一月に就任された西川新市長をお招きし、一層豪華な顔ぶれとなりました。



第三十一回 東京旭川会総会・懇親会 出席者一覧 (順不同)

〔旭川市関係者〕

- 旭川市長
- 旭川市議会議長
- 旭川商工会議所会頭
- 旭川空港ビル(株)代表取締役社長
- 旭川市副市長
- 旭川商工会議所専務理事
- 旭川市商工観光部長
- 旭川市議会事務局長
- 旭川空港ビル(株)総務部次長
- 旭川市企画財政部秘書課長
- 旭川市企画財政部秘書課

〔来賓〕

- 関西旭川会会長
- 北海道新聞東京支社 社会部長
- 北海道ふるさと会連合会会長
- 北海道国際航空(株)代表取締役社長
- 北海道国際航空(株)東京支店長
- 北海道国際航空(株)代表取締役社長
- 男山(株)代表取締役社長
- サッポロビール(株)営業推進部専任部長
- オエノンホールディングス(株)秘書室長
- (株)ベッコアメ・インターネット代表取締役

- 西川 将人様
- 岩崎 正則様
- 高丸 修様
- 菅原 功一様
- 中屋 利夫様
- 佐藤 和明様
- 重野 健一様
- 森下 元様
- 奥山 雄児様
- 黒蕨 真一様
- 宮野 華奈様
- 豊澤 敬一郎様
- 吉岡 孝修様
- 植木 秀雄様
- 滝澤 進様
- 末富 義仁様
- 山崎 興四良様
- 今井 俊之様
- 山村 光太郎様
- 藤本 和久様

〔出席者〕

- 有本 誠
- 石川 陽一
- 伊塚 清
- 今津 寛
- 今村 謙一
- 岩垂 由紀子
- 植木 宏昌
- 上田 皓一
- 上野 敦子
- 内澤 忠義
- 浦木 勲
- 海老沢 美智子
- 遠藤 多美子
- 大江 誠
- 大竹 龍男
- 大西 幸男
- 大野 武夫
- 大屋 道天
- 荻 達郎
- 加藤 桂子
- 加藤 文哉
- 川井 卓

- 河原 惟臣
- 木寄 秀夫
- 北村 武宏
- 鴻上 修一
- 河野 豊
- 木幡 功
- 小柳 武二
- 櫻井 悠
- 佐々木 隆博
- 佐藤 美紀
- 斉藤 弘明
- 柴田 光枝
- 清水 陸男
- 白倉 伸也
- 宗万 裕
- 宗万 由美子
- 斉藤 千鶴子
- 佐々木 秀郎
- 高尾 榮二
- 高橋 國二
- 高橋 照美
- 高橋 文子
- 高附 即

- 竹原 茂雄
- 丹保 冬司夫
- 土屋 裕亮
- 坪井 美樹
- 坪田 尚美
- 土井 磨智子
- 中村 泰敏
- 那須 利雄
- 西木戸 孝夫
- 西田 育子
- 野口 安計
- 野作 雅章
- 原 一平
- 原 公明
- 坂東 勝利
- 坂東 幸子
- 引地 康博
- 平澤 民善
- 廣野 貴之
- 福田 源治
- 福田 優子
- 福原 博子
- 古澤 正夫

- 牧田 紀子
- 松島 薫
- 松田 勇三
- 松原 愛
- 松原 茂喜
- 三井 尚美
- 水無月 順子
- 茂木 信昭
- 森山 広子
- 安井 規雄
- 柳 シュン
- 柳本 正
- 山崎 脩五
- 山中 公悟
- 山原 正博
- 山本 剛
- 山城 弘康
- 横倉 博
- 横田 茂
- 吉崎 与一
- 和気 敏明

- 旭川市企画財政部秘書課
- 旭川市水道局総務課
- 旭川市商工観光部産業振興課
- 旭川市商工観光部観光課
- 旭川市農政部農業振興課(農産係)
- 旭川市議会(事務局)
- 旭川商工会議所
- 旭川観光協会
- 旭川振興公社
- 旭川空港ビル(株)
- (財)道北地域旭川地場産業振興センター
- 旭川ランドホテル
- ロワジュールホテル旭川
- 旭川ターミナルホテル
- ホテルクレセント旭川
- 北海道国際航空(株)
- 男山(株)
- サッポロビール(株)
- ニッカウヰスキー(株)
- 藤原製麺(株)東京支店
- オエノンホールディングス(株)
- (株)ササキ工業
- 佐賀孝郎商店
- (株)大心堂雷おこし
- 今野醸造(株)
- (有)本間不動産
- 旭ダンケ
- (株)毎日新聞社
- (株)ベッコアメ・インターネット
- ハイアットリージェンシー東京

平成18年度 事務局長日誌 (平成18年9月1日～平成19年8月31日)

- 〔平成18年〕
- 9月4日～6日 第19回郷土訪問の旅 参加者44名
- 9月26日 創立30周年記念講演・懇親会準備委員会
- 9月30日 会計監査 代表 植木宏昌 …東京旭川会事務所
- 10月4日 第1回幹事会 …ベッコアメ・インターネット
- 10月12日 第33回東京旭川会ゴルフ同好会開催 …武蔵富士カントリー倶楽部参加者12名
- 10月18日 東京旭川会創立30周年記念講演会・懇親会 …新宿センチュリーハイアット東京 会員出席者154名、旭川市関係者11名、来賓者12名、合計177名

- 〔平成19年〕
- 1月12日 会報「ななかまど」第28号発行
- 1月20日 北海道ふるさと会連合会 新年交礼会 …明治記念会館
- 1月27日 第2回幹事会・新年交礼会 …ベッコアメ・インターネット
- 3月4日 全日本綱引き大会応援 …千葉市ポートアリーナ・旭川BLチーム(女子)
- 4月5日 第34回東京旭川会ゴルフ同好会開催 …武蔵富士カントリー倶楽部参加者7名
- 6月2日 第1回総会準備委員会
- 7月7日 第1回北海道ふるさと会連合会 サッポロビール千葉工場見学・納涼会…参加者6名
- 8月4日 第2回北海道ふるさと会連合会 サッポロビール千葉工場見学・納涼会…参加者8名
- 8月11日 第3回幹事会

# 第二十回郷土訪問の旅

清水陸男



昨年、初めて参加した九月七日からの「郷土訪問の旅」は、私の人生にとって一生忘れられない旅になりました。わが母校（旭川東高）の副会長の加藤桂子先輩から、同窓会にて「一度は郷土訪問の旅に参加しなさいよ！いろいろな人達にも出合えるのよ！とても楽しいのよ！」と言われました。

早速、家内に「参加してみようか！」と誘ったところ、団体ツアーがあまり好きじゃない彼女が「ぜひ！行ってみたいね！」と以外にも賛成したのです。そのわけは、一昨年の九月に旭川にいる甥っ子の結婚式に行った際、旭山動物園に行き、生き生きとした動物たちの姿に感動し、表情豊かなペンギン、ホッ

キョクグマ、チンパンジー他たくさん動物たちに、また会いたくなったからでした。「なるほど、動物達の力はすごいな」と彼らに感謝する次第です。さて、そうと決まれば「清水一家兄弟全員を誘ってこの機会に郷土訪問しよう！」と思い、長兄に相談したところ「それはいい考え」「九州にいる次兄も東京の弟も誘って、GO！する計画を立てなさい。」だが、なかなか全員一緒で同一の団体行動をとるのが難かしいことになり、九月八日（土曜日）に父の二十三回忌を行うことになっていたので、その日に全員集合することになりました。

さて、台風のことを心配したにも拘わらず無事わが故郷・旭川に着きました。早速、元市長の菅原旭川空港ビル社長はじめ奥山さん等大勢の関係者の方々に歓迎され、一休みしてからバスで市内観光へ出発。西川市長が迎えにくれて「大雪の蔵」で昼食をとった後、旭山動物園に行きました。一昨年の東京旭川会第三十周年の時の「子供達が命を感じる動物園」入園も動物も一緒に暮らす時代」など小菅園長の言葉を思い出しながら、一年ぶりに再会する動物さん達に会えて、家内と「参加してよかったね！」と喜んで見歩きしました。

次に「男山酒造の資料館」へ行き、山崎社長から直々に説明を受け、男山が世界各地に輸出されていることを知り驚きました。夜の部の一懇親会に参加して驚いたことは、坂東徹元市長・高丸商工会議所会頭・西川市長・岩崎市議会議員・重野市観光部長はじめ、多数の旭川のお歴々の方達と会話できたことです。大勢の方々に歓迎して頂き感謝の気持ちでいっぱいでした。

二次会でカフオケ屋に行き、竹原会長の美声を聞かせていただきました。次の日の九月八日（土曜日）、台風の影響があまり無く、予定通り、九十一歳の母が、お世話になっている「共生園」から帰宅して、子供達夫婦、孫達、ひ孫達、大勢の清水一家に囲まれて「父の二十三回忌」を行うことが出来ました。これもひとえに「旭川会の郷土訪問の旅」のお陰です。

日曜日は高校時代の友と家内とでゴルフをして、九月十日（月曜日）に竹原会長と一家と何人かの会員とともに無事羽田空港に着き、楽しかった思い出をお土産に自宅に帰ってきました。それからちょうど三ヶ月後！十二月十一日、母が他界しました。もし郷土訪問の旅に参加しないで父の二十三回忌を年明けの一月五日（命日）にしたならば・・・母は私達子供、孫、ひ孫達全員と会うことなく旅立っていたかも知れません。

繰り返しますが、この「郷土訪問の旅」は一生忘れられない旅となりました。企画された東京旭川会の幹事の方々、また歓迎してくれた故郷の方々、一緒に参加された会員の方々、本当に有難うございました。心より感謝申し上げます。

## 東京旭川会 ゴルフ親睦会のご案内

2008年も、春と秋にゴルフコンペの開催を予定しています。旭川市及び近郊出身でゴルフに興味がある方は、まだまだ大勢いらっしゃると思います。ぜひ、ご一緒にラウンドしましょう。底抜けに楽しいひと時となることをお約束します。



■第35回ゴルフコンペの参加者

### [第34回ゴルフコンペ]

- 開催日：平成19年4月5日（木）
- 場 所：武蔵富士カントリー倶楽部 参加者7名
- 優 勝：野作雅章 グロス102 HDPC26.40 ネット75.60
- 準優勝：得能英哉 グロス102 HDPC25.20 ネット76.80
- 3 位：宮森信之 グロス95 HDPC18.00 ネット77.00
- バsgロ：宮森信之 グロス95

### [第35回ゴルフコンペ]

- 開催日：平成19年10月18日（木）
- 場 所：武蔵富士カントリー倶楽部 参加者12名
- 優 勝：宮森信之 グロス92 HDPC19.20 ネット72.80
- 準優勝：眞鍋勝美 グロス81 HDPC6.00 ネット75.00
- 3 位：高橋正夫 グロス83 HDPC16.80 ネット76.20
- バsgロ：眞鍋勝美 グロス81

### [第36回ゴルフコンペ案内]

- 開催日：平成20年4月2日（水）
- 場 所：武蔵富士カントリー倶楽部
- 6組を予定しており、振るっての参加お待ちしております。
- 世話人幹事：小柳 武二（東京旭川会事務局長）
- TEL. 048-251-8605

# 旭商吹奏楽部全国大会へ

荻野慶博

旭商吹奏学部は、大正十五年四月に音楽部としてハーモニカを中心に設立された。顧問は立教大学出身の吉本孝義先生であった。その後、昭和三年六月に軍事訓練用の信号ラップを購入し、ブラズバンドが正式に編成された。当時、道内には旧制の中学校は二十校は

どあったが、ブラズバンド関係の倶楽部は皆無であった。

昭和四年六月五日の第一回北海道護国神社慰霊音楽大行進に参加する。この慰霊大行進は、吹奏楽部顧問の吉本孝義氏、町井楽器店主の町井八郎氏、北海タイムス旭川支局長の竹内武夫氏らにより表現されたものであるが、第一回の大行進には、旭商ブラズバンド、旭川師範学校ブラズバンド、鉄道ダイヤ音楽団、合同酒精音楽隊、旭川市民管弦楽協会、北都写真館音楽部、朝日小学校音楽部、第七師団ラッパ隊など僅か十チームに満たない参加であった。

この大行進は、戦後昭和二十四年から四年間中断して昭和二十八年に復活し、現在、名称は多少変更となったが、音楽大行進創設以来継続して参加している学校は旭商のみである。

現在、高校の吹奏楽部の大会でもっとも権威のあるのは、全日本吹奏楽部連盟主催のコンクールで、これは昭和三十一年より開催されてきているが、旭商は、この第一回大会で地区及び全道予選で第一位となって全国大会に出場し、その後も連続全国大会に出場した。その栄誉を称えられて、昭和三十八年十一月には、旭川の文化奨励賞を受賞している。今年十月には、八年ぶりにこの大会の全国出場を果たし、銀賞を獲得した。一方、平成元年より全日本高校選抜吹奏楽部大会が創設され、これにも多く出場し、昨年の四月二日の第十八回大会には、出場十六校の三位に入賞

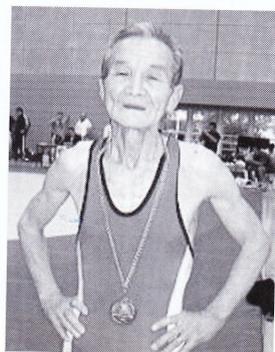
した。この大会では、過去の平成十二年にグランプリ（第一位）、平成十三年にはマルタ賞を獲得している。また、一昨年は高等学校文化連盟主催の第三十九回全道高校音楽発表大会で優勝し、昨年八月の京都において開催の全国大会に出場している。

近年は、単に演奏の技術を追求するだけでなく、音楽を通して、人・仲間との存在価値を見出すことを心がけ、演奏の他にダンス・合唱・ハンドベル等も取り入れ、また他の学校や地域との交流も進め、各種イベントにも参加し、毎年二月頃に旭川市民文化会館で定期演奏会を開催しているが、超満員の盛況で、旭川市民から愛され、高く評価を得ている。

外国との交流も積極的に進められ、平成十一年、十五年、十七年、十九年とこれまでに四回カナダのノースバンクに遠征し、現地の高校や市民との交流を行なった。昨年四月に現地のサウザランド高校から二十八名の吹奏楽の生徒が旭川に来たが、十九日にクリスタルホールで合同の演奏会を開催した。なお、四年前の平成十五年二月二十八日に、第二十七回旭川ななまかま賞を受賞したが、この賞での学校関係の受賞は本校がはじめてである。

現在、部員は約百三十名ほどおり、これは在学生七百七名の約二十％になる。現在、顧問は技術指導の佐藤淳教諭の他に深瀬裕教諭・大野英明教諭である。

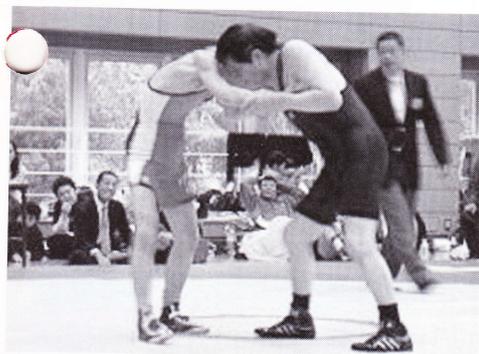
# 全日本マスタースで優勝 高橋登さん



「米盛さんは力が強くて筋力もあった。私が勝てたのは実力ではなく、ただ若かったというだけです」と豪快に笑った。高橋さん（右写真）は北海道・旭川商高から日大に進学。特筆するような実績はなかったというが、同じく旭川商高の後輩、吉田義勝氏（東京五輪フリースタイル・フライ級金メダリスト）現全日本マスタース連盟理事長と一緒に汗を流した。

平成二十年一月二十日に生涯スポーツとしてのレスリング普及を目指す第七回全日本マスタース選手権が東京・青少年総合センターで行われ、昨年の倍増となる一〇〇人を超えるベテランレスラーたちが汗を流した。六十キロ以下級では、六十八歳の高橋登さん（東京都旭商・日大OB）と大会最高齢の八十二歳、米盛勝義さん（神奈川県中大OB）が対戦。両者合わせて百五十歳の闘いとなり、参加者の大注目を集める中、高橋さんが延長までもつれる接戦を制して勝利し、メダルを手にした。

試合は第一ヒリオドを高橋さんが先制すると、第二ヒリオドを米盛さんが奪い返し、迎えた最終ヒリオドは両者ポイントなし。延長戦となり、コイントスで攻撃権は米盛さんへ。大ピンチを迎えた高橋さんは、スリりとバックに回って勝利をさらった。



両者合わせて150歳の戦いを制した高橋登さん（左）

現役引退後、レスリングを再びかかわるようになったのは三年前。「練馬ジュニアレスリング谷原くらぶ」を立ち上げ、子供たちの指導を始めた。子供たちに大会出場を勧められたという高橋さんは、「みんなに出る出ると言われまして、恥を忍んで出場しました。マットで試合するのは四十四年ぶり。いやあ、出てみてよかったですね」と教え子たちに感謝した。ジュニアの指導者として目指すのは、もちろんレスリングのさらなる普及だ。「チビっ子から高齢者まで楽しめるのがレスリング。少しでも多くの人にレスリングを楽しんでもらえるように、これからはがんばりたい」。六十八歳の現役レスラーは元気一杯だった。

（文・写真）日本レスリング協会HPより

# 全国綱引選手権大会に二十回連続出場

## 旭川BL

二〇〇七年日本綱引選手権大会が平成十九年三月四日(日)千葉ポートアリーナで開催されました。

北海道女子代表の旭川BLは、過去に三年連続日本一を含め五回の優勝を誇る名門チーム。今回で二十回連続出場となり、午前中の開会式でその偉業を表彰されました。東京旭川会では毎年会場に駆けつけ応援しています。

午前の予選リーグでは、旭川BLは第八ブロックに入り五チーム総当たりの熱戦を繰り広げました。優勝候補筆頭のマドラス大阪にこそ惜敗したものの安定感抜群、三勝一敗で決勝トーナメントに勝ち上がりました。故郷の代表チームが優勢だと応援する我々のボルテージも最高に上り、たいへん気持ちがいよいものです。



■開会式にて20回連続出場を表彰される



■予選試合を優位に戦う旭川BL

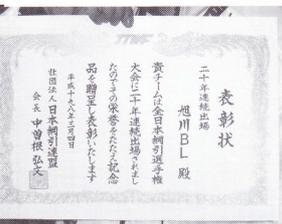
男子予選リーグには東川綱引倶楽部が参加し大健闘しましたが、惜しくも予選で敗退してしまいました。

この大会が応援初参加となった私の目の前で繰り広げられる競技は、これまでの「綱引」イメージを超越しています。「動」というよりは「静」。力ではなくテクニックで相手をギブアップさせる総合格闘技に似た印象です。さらに「こころ」という時に綱を引く満身の力と選手の重量感、もの凄いエネルギーとなって応援席まで伝わってきます。

午後から始まった決勝トーナメントでは、旭川BLは推薦出場の強豪大分コスモレディースTCと対戦。前半はまさに五分の勝負でしたが、接戦の末に惜しくも敗れてしまいました。この大会では、優勝(マドラス大阪)



■表彰状



と三位(大分コスモレディースTC)の両チームには惜敗しましたが、懸命に綱を引く旭川BLチームの選手の姿は私たちの心に焼き付きました。試合後にお伺いしたところ、旭川市内の小学校の体育館を借りて週二回のチーム練習を続けているそうです。はるばる旭川から来られたチームの皆さん、本当に疲れさせませんでした。ぜひ、また応援させてください。(取材) 東京旭川会 山崎 脩五

# 旭川ラーメンの味を全国へ 藤原製麺(株)

当社は、昭和二十三年、旭川において創業以来、五十有余年の間、麺類一筋で製造・販売をさせていただいております。本社のある旭川市を中心に六ヶ所の工場をもち、生麺、ゆで麺、乾麺のほか、かき揚げ、納豆を製造しております。当社の特徴は多彩な商品のパリエーションにあり、旭川ラーメンのほか、喜多方、尾道、博多、熊本などの全国で当地ラーメンを次々と商品化。さらに全国の有名繁盛店の味を再現したラーメンも開発・販売しており、パリエーションはラーメンだけで約八〇〇に上ります。

また、東京や札幌に支店を置き、アテナを張り巡らせているほか、大手コンビニチェーンとの取引からも消費者ニーズの把握に努めています。



■毎年大好評! 旭川ラーメンコーナー (東京旭川会 総会・懇親会)

さらに北海道の素材を使った商品開発も進めており、北海道産の持つ安全でクリーンなイメージを前面に押し出して売り込みを図っています。

製品の衛生管理の徹底と生産効率向上のため、工場設備のリニューアルを進めるとともに社員教育に力を入れております。

今後も、当社の基本理念であります「誠実」を基本に、独自の旭川ラーメンの味を守りながら地域社会に貢献できるよう、安心安全な商品作りをモットーに、より多くのお客様に喜んで頂ける商品作りを目指したいと考えております。今後ともご愛顧の程、宜しくお願い申し上げます。

www.fujiwara-seimen.co.jp



■徹底した衛生管理、生産効率を誇る工場

# 旭山動物園に「オオカミの森」がオープン

オオカミの迫力をたっぷりとお伝えします！

オオカミと一緒にエゾシカも飼育します。これは、昔、北海道にはオオカミとエゾシカが共存していたことを再現するものです。当時の北海道の自然を体感してください!! ※エゾシカ舎の完成時期は平成20年度内を予定しております。

オオカミを間近で観察できるドーム型の観察スペースがあります。ここで、オオカミの迫力、大きさなどを体感することができます。



「オオカミの森」完成予想図

ここは小山になっており、夕方になると、オオカミはその山の上で遠吠えをする姿を観察できるはず!?!? と思いながら設計されています。また、この山でオオカミはどのような動きを見せてくれるでしょうか。

ここは広い観察スペースで、極越しにオオカミを観察することが出来ます。オオカミが走り回る姿を観察することで、オオカミの臭い、気配などを感じてください。

今年の六月末に「オオカミの森」がオープンします。実は旭山動物園でも昔オオカミを飼育していたことがありましたが、展示施設が老朽化したことにより、飼育を断念して現在に至っています。

オオカミはイヌではありません。トラやホッキョクグマと同じく、頑として人の介在を許さない気高い生き物でした。荒々しさと繊細さが同居する、飼育する者を魅了する生き物で、十一年以上たった今でもオオカミの遠吠えは耳に残っています。

北海道の雄大な自然や世界自然遺産となった知床のほか、北海道以外でも

雄大な自然と呼ばれるところはたくさんあります。しかし、私たちは北海道や本州で生態系の要であるオオカミを絶滅させた歴史を持っています。

シカの食害による森林の崩壊が現実のものになりつつある今、私たち「ヒト」がオオカミに替わり何らかのコントロールをしなければいけません。すべての命は連鎖しています。その連鎖の輪を断ち切ってしまった罪を今こそしっかりと再認識をし、自然の成り立ちや、命の成り立ちを理解しなければ、将来を見据えた対策はとれないでしょう。

そんなメッセージを込め、オオカミの森の完成を目指してまいります。

# 首都圏に「企業誘致推進員」を配置

旭川市では、企業誘致活動を強化するため、平成二十年度から首都圏在住の方を企業誘致推進員として配置します。推進員には、旭川勤務の経験がある金融機関OBの方を予定しており、豊富な経験や幅広い情報網を活かした効果的な企業訪問活動などを行なっていただきます。

企業誘致は各自治体が力を入れており、自治体間競争が激しさを増しておりますが、企業誘致推進員により一社でも多くの企業と折衝機会を持つことができるものと考えていますので、東京旭川会の皆様におかれましてもご協力をよろしくお願い致します。

## 次のような情報をご提供ください。

○〇社の役員が旭川出身なので企業訪問してはどうか？

○〇社の現工場が手狭で地方展開を模索しているようだ！



担当：旭川市商工観光部産業振興課  
電話：0166-255-7047(直通)  
FAX：0166-255-7063  
メール：sangyousinkou@city.asahikawa.hokkaido.jp

## 北海道方言辞典【サ行】

【したら】…それでは。それなら。

《例》したら、また今度会うべ。

【しばれる】…凍る。寒さが厳しい。

《例》今朝はずいぶんとしばれるよ。

【しゃっこい】…冷たい。

《例》冬の水は本当にしゃっこい。

【じょっぴんかる】…鍵をかける。

《例》ちゃんと、じょっぴんかった？

【そったらべっこ】…そんな少し。たったそれだけ。

《例》そったらべっこじゃ、足りないべ。

【したから】…だから。

《例》風邪ひいてね。したから学校やすんだ。

【したけど】…けれども。

《例》謝ったさ、したけど許してくれん。

【したっけ】…そうしたら。

《例》早弁してたんだ。したっけ先生に見つかった。

【したっけ】…じゃあまたね。(別れの際の挨拶)

《例》そろそろ帰る、したっけねー。

【したって】…だって。そうは言うけど。

《例》したって、お腹空いているから動けん。

# ポイントたまる便利サイト My AIRDO 誕生!

北海道⇄東京4往復(8ポイント)で  
片道タダはAIRDOだけ!  
まずは「My AIRDO」にご入会を!

予約がカンタンに! 「ご搭乗い  
ただくだけでポイントゲット!  
そして8ポイント(8回ご搭乗)  
で無料航空券引換証に交換!

.....

お待ちいたしました! 皆様にご  
愛顧いただいております東京⇄旭川を  
はじめ、札幌・函館・女満別と首都圏を  
結ぶ「北海道の翼」AIRDOが会員制  
Webサービス「My AIRDO」を  
開始いたしました。ご入会いたくと  
予約の簡易化、予約情報の照会や搭乗  
履歴の確認、そしてWeb上から無料  
航空券引換証の申込が可能となります。  
おトクなAIRDOスペシャルやDO  
バリュー運賃(のご搭乗でもポイント  
加算されます。ポイントの有効期間は  
2年間です。今すぐ当社Webサイト

からご入会を!

もちろんご入会登録は無料

です。www.airdo.jpよ

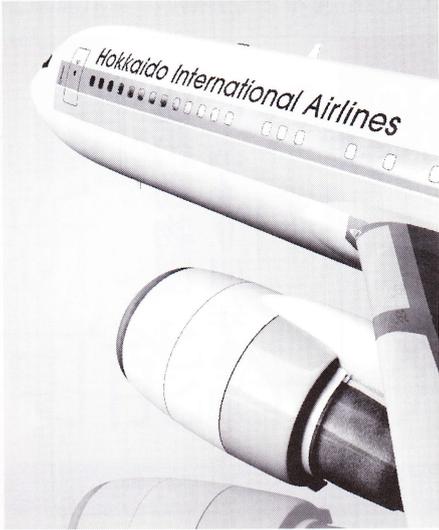
「My AIRDO」をご選択下さい。

あわせて、道民カード

無料更新サービス開始!

.....

道民カードの有効期限の前夜90日  
以内にエア・ドゥ直営カウンター(羽  
田空港、新千歳空港、札幌地下街ポ  
ルタウン)に現在ご使用中の道民カ  
ードと証明書類(保険証・免許証・住  
民票・パスポート等)をお持ちいただ  
ければ、無料で道民カードを更新いた  
します。カードと証明書類(保険証・免  
許証・住民票・パスポート等)をお持  
ちいただければ、無料で道民カードを  
更新いたします。



## ご予約・ご案内

- フリーダイヤル:0120-057-333
- TEL:03-6741-1122
- 営業時間:6:30~22:00
- URL: www.airdo.jp



## 第8回 旭川橋ものがたり 「金星橋」



■新生「金星橋」完成予想図(平成20年完成予定)



■木橋として竣工

市内に数ある橋のなかで現在、  
架替え工事の真最中なのが金星橋であ  
る。金星橋は昭和九年(1934年)に  
新旭川地区と近文地区(当時)を結ぶ  
有効幅員10mの本格的な木橋として  
竣工した。橋長323.3mは当時の旭川  
では最長であった。

木橋なるが故に度重なる補修を繰り  
返した後、昭和三十九年(1964年)  
に橋長320mの鋼橋(ゲルバー型上  
路式鋼桁橋)となったが、昭和四十七年  
(1972年)には増大する交通量に  
対応するため上流側に拡幅工事を行い、  
幅員28mを有する市内でも有数の長  
大橋となった。

その後、架橋後四十年余りが経過し  
老朽化したことや、石狩川の河床洗掘  
により橋脚の安定性が失われてきてい  
る。さらには、三万台を超える一日  
の自動車交通量に対応する必要などか  
ら、北海道旭川土木現業所が平成十二  
年度に架替え工事に着手した。

今、徐々にその姿を現わしつつあるが、  
平成二十年度には着手から足掛け九年  
の歳月を要して橋長327m、幅員(橋  
梁部)30.5mを持つ新生「金星橋」  
(5経間連続鋼箱桁橋)として完成し、  
その全容を見せる予定である。

金星橋の辺りについては、子供の頃  
と言っても四十年以上も前のことにな  
るが、近くに住んでいたこともあり、  
数々の懐かしさも楽しい思い出がある。  
今では市立病院裏手の堤防は、サイク  
リングロードや花壇、さらには噴水公  
園など素晴らしい立派に整備されてい  
るが、当時は護岸も蛇籠であり、堤防  
から川岸にかけて一面に柳や大人の背  
丈を優に超える草が繁茂していたもの

である。これらは踏みだくだけでト  
ンネル状の通路や部屋となり、稀には  
卵が産み付けられた野鳥の巣もあるな  
ど、子供の好奇心を満たしてくる場  
所であり、秘密の基地(へり)と称して  
友達等と足繁く通ったものである。  
だが残念なことに、非行の温床にな  
るからと草刈りが行われるようになり、  
せっかくの秘密基地もその後は作るこ  
とが出来なくなりました。今でも  
当時の青臭い草の匂いと自分だけの空  
間を手に入れた満足感を懐かしく思い  
出す。

当時はテレビが漸く普及し始めた頃  
で、遊び場はもっぱら戸外であり、上  
は高校生から下は就学前の鼻垂れ坊主  
までが一緒になって暗くなるまで遊ん  
だものである。そうして、金星橋近く  
の堤防や河原はその格好の舞台であ  
った。

金星橋が架かる石狩川も文字通りの  
清流を留めており、小学校低学年の頃  
は金星橋の直ぐ上流の右岸が学校指定  
のプールであった。ごつごつした砂利  
を足裏に感じながら夢中で泳いでいる  
うちに、本流との仕切がないために危  
うく流されそうになるなど、今にして  
思えば随分と乱暴な話ではあった。そ  
の石狩川が経済成長とともに失ってい  
った清流を、最近になって徐々にでは  
あるが取り戻しつつあるとのこと。金  
星橋付近は大物のニジマスが釣れ、鮭  
も見られるとか。かつての金星橋が見  
つめてきた、旭川の人々の暮らしとこ  
もにあった石狩川の清流。新たに生ま  
れ変わった金星橋が再び清流を目にす  
る日も、そう遠くない。

## 旭川だより

01

旭山動物園  
開園40周年を迎える

今や、旭川を代表とする人気施設となった旭山動物園ですが、昨年、開園40周年を迎えました。

7月1日の開園記念日は、市民に無料開放されましたが、快晴に恵まれ13,532人の皆様が来園されました。

記念式典には、テレビドラマで園長役を演じられました俳優の津川雅彦さんも駆けつけ、西川市長と対談を行ったほか、シンポジウムなど様々な行事が行われました。

なお、現在、旭山動物園では皆様に寄付金をお願いしております。



02

「大雪のしずく  
あさひかわの水」  
は飲まれましたか？

旭川の水道水は、大雪山連峰を水源とするおいしい水道水として知られています。

旭川市では、その水道水から塩素除去したものをペットボトル詰めにして販売しました。旭山動物園内の売店や公共施設等で販売されていますが、昨年11月までに予想の3倍以上の10万本以上を売り上げました。

皆様も一度、飲んでみてはいかがでしょうか！



03

神楽市民交流センター  
がオープン

市内神楽3条6丁目に支所、公民館、図書館、児童センターの4つが一つの施設内に入居した「神楽市民交流センター」が昨年10月9日にオープンし、記念の企画展示やコンサート等も行われました。

この施設は、大雪アリーナ前にありました旧北海道森林管理局旭川分局の庁舎を改修したもので、様々な種類の木を多く使用した施設は市民の皆様にも好評を得ております。



04

姉妹・友好都市  
との交流

アメリカ合衆国のブルーミントン・ノーマル両市との友好都市提携45周年を記念して、昨年6月に市長をはじめとする訪問団30名が来旭し、記念植樹や祝賀式典、コンサートなどが行われました。

また、ロシア連邦のユジノ・サハリンスク市とは友好都市提携40周年を迎え、昨年9月に市長を団長とする約90名が同市を訪問し、4日間の訪問期間中、祝賀式典や琴や太鼓の演奏会などを通じ交流を深めました。

編集  
後記

平成二十年一月から「ななかまど」の編集を担当する広報委員会のメンバーに変更がありましたので、紹介させていただきます。(以下敬称略)

●横田茂「それぞれの学校(高校同窓会)から運営委員を数名出す...という趣旨を受けて、お手伝いをつけています。役員・幹事の皆さんが中心になって地道に声掛けをして、着実に輪を広げていきましょう！」

●河原惟臣「高校の先輩に促されて参加しました。故郷を思い出させてくれる旭川会から良い刺激や影響を受け、幹事をお手伝いしたいと思いました。総会・懇親会に参加すると、旭川の人や食べ物が好きになりますよ！」

●森山広子「先輩の勧めで参加しました。幹事としてお手伝いしながら、会長を始め旭川会の方から様々なものを得ることで人生が豊かになっていきます！ぜひ多くの方に参加していただきたいです。」

●牧田紀子「高校の先輩(私の兄の友人)に勧められ、旭川会のお手伝いを始めました。皆さまの近況をお寄せください。ななかまどの紙面でご紹介したいです！」

●山崎脩五「先輩に促されてお手伝いを始めました。故郷の重鎮が多数揃う総会は、現在の旭川市と交流できる時間・空間です。もっと多くの方と一緒に体験・共有したいです！」

以上の5名の他に、竹原茂雄会長も含めた6名が広報委員会の委員です。どうぞよろしくお願ひ致します。

今回、「ななかまど」29号の刊行に際し、関係者の皆様には並々ならぬご協力をいただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。